

太陽 “ふたご” から “かに” へ進む。小暑

が7日22時7分、土用入が21日4時16分、大暑が23日15時29分。時差は—（平均太陽は眞太陽の西）で27日に極大値 $-6^{\circ}23'$ を示す。

カリントン太陽自轉期は世界時13.086（日本時13日11時4分頃）から第1175期が始まる。

3日に地球が遠日點を通るため同日、視半径は極小 $15'45.69''$ 、地平視差も極小 $8.66''$ 、距離は極大1.01672（15200萬軒）となる。

1941年

7月の天象

	赤 經	赤 緯	視半径	距 離
1日9時	$6^{\text{h}} 38^{\text{m}} 9^{\text{s}}$	$+23^{\circ} 9.3'$	$15' 45.7''$	1.01671 (15200萬軒)
11日9時	7 19 16	$+22 11.7$	15 45.8	1.01659 (15198 “)
21日9時	7 59 41	$+20 35.9$	15 46.3	1.01609 (15191 “)
31日9時	8 39 11	$+18 25.6$	15 47.2	1.01506 (15176 “)

月 2日13時24分に上弦（をとめ座）、9日5時17分に満月（いて座）、16日17時7分に下弦（うを座）、24日16時39分に新月（かに座、舊閏六月朔、ブラウン月相第230期の始まり）、31日18時19分に再び上弦（てんびん座）。地球との距離は6日11時に最近、18日9時に最遠となる。

水星 ふたご座。この月は中下旬が觀望に適す。初め夕の西空にあつて逆行してゐるが、3日に太陽と内方會合、曉の東天に移り、14日西留、以後順行となり、同日太陽から見た黄緯が最南となり、23日1時に月と會合、24日西方極大離角に達する。

	赤經 $6^{\text{h}} 49.3^{\text{m}}$	赤緯 $+18^{\circ} 42'$	距離0.561單位	太陽間隔11分時
1日9時	6 49.3	$+18 35$	0.625	48
11日9時	6 28.1	$+18 57$	0.666	61
14日9時	6 26.5	$+20 11$	0.797	78
21日9時	6 36.2	$+20 44$	0.865	79
24日9時	6 46.3	$+21 29$	1.038	68
31日9時	7 23.4			

金星 “かに座” より “しし座” 中央まで順行。宵の明星。太陽より漸次離れつゝあり月末には約2時間の差となる。13日に太陽より見た黄緯が最北に達す。6日朝に冥王星と會合、26日22時に月と會合。光度 -3.3 、視半径は月初め $5''$ 、月末 $6''$ ；地球からの距離は初め1.593、末1.448單位。

火星 “うを” と “くぢら” の境界線に沿つて順行。夜半前に東天に昇る。この月から今期の火星面特別觀測（別頁記事参照）が開始される。10日に太陽より見た黄緯が最南となり、15日11時に月と會合。光度は初め -0.4 、末 -1.0 ；視半径は初 $6''$ 、末 $8''$ ；地球からの距離は初め0.796、末0.620單位。

木星 曉の東天。うし座ヒヤデスの北邊を順行中。20日18時に月と會合。光

度は初め-1.6, 末-1.7; 視半径は初め16'', 末17''; 地球との距離は初め5.874, 末5.576単位.

土星 曉の中天にあり. うし座西部を順行中. 19日10時に月と會合. 光度は初め0.5, 末0.4; 視半径は8''; 地球との距離は初め9.855, 末9.426単位.

天王星 曉の中天. うし座プレヤデス星群の南方を順行中. 19日16時に月と會合. 光度6.1, 視半径1.7''.

7月1日9時 赤經3^h 45^m 44^s 赤緯+19°38.6' 距離20.288単位

8月2日9時 3 50 51 +19°54.6 19.849

海王星 宵の中天. をとめ座西端β星の北に接して順行中. 光度7.8, 視半径1.2''. 1日13時と28日19時との2回, 月と會合する.

7月1日9時 赤經11^h 43^m 56.3^s 赤緯+3° 7' 0'' 距離30.464単位

8月2日9時 11 46 21.8 +2 50 18 30.930

冥王星 宵の西天. かに座中部を順行中. 6日朝に金星と會合, 30日(本誌第229號第222頁に24日とあるは誤り)に太陽と會合. 光度15. 一流の大機械でないと見えぬ. 距離は24日頃極大で39.50単位となる.

7月1日9時 赤經8^h 26^m 44^s 赤緯+23°33.6' 距離39.43単位

8月2日9時 8 30 31 +23 22.3' 39.49

流星 七月八月は流星の觀測期である. 別頁流星課報告を参照されたい.

長週期變星 七月に極大となる主なもの. (詳細は一月號第15頁参照)

おほくまS星(極大光度7.0, 極大豫定日2日) いてRT星(6.3, 7日)

くちらU星(6.6, 9日) をとめR星(6.2, 11日)

いてR星(6.7, 14日) おほくまR星(5.9, 21日)

七月の文天史

七月4日 スキヤパレリ歿す(1910年).

6日 ニコルソン(米)木星の第10及第11衛星を發見す.

11日 ニュイカム歿す(1909年).

13日 ブラッドリイ歿す(1762年).

16日 長田彗星發見さる(1931年), ピヤジ(伊)生る(1746年).

22日 ベセル(獨)生る(1784年), ピヤジ歿す(1826年).

27日 エヤリ(英)生る(1801年).

31日 新城新藏歿す(1938年).

(全て日本標準時)

七月の天文カレンダー

日	曜	月齢 (正午)	干支	天界現象	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 (21時)
					P	B ₀	L ₀	時差 ^m	
1	火	6.3	庚戌	海・月	- 2.9	+ 2.9	160.0	- 3.5	2430177.0
2	水	7.3	辛亥	上弦	- 2.4	+ 3.0	146.7	- 3.7	178.0
3	木	8.3	壬子	水星 ¹⁾	- 2.0	+ 3.1	133.5	- 3.9	179.0
4	金	9.3	癸丑		- 1.5	+ 3.3	120.3	- 4.1	180.0
5	土	10.3	甲寅		- 1.0	+ 3.4	107.0	- 4.3	181.0
6	日	11.3	乙卯	月が近地點	- 0.6	+ 3.5	93.8	- 4.4	182.0
7	月	12.3	丙辰	小暑	- 0.1	+ 3.6	80.6	- 4.6	183.0
8	火	13.3	丁巳		+ 0.3	+ 3.7	67.3	- 4.8	184.0
9	水	14.3	戊午	満月	+ 0.8	+ 3.8	54.1	- 4.9	185.0
10	木	15.3	己未	火星 ²⁾	+ 1.2	+ 3.9	40.8	- 5.1	186.0
11	金	16.3	(庚申)		+ 1.7	+ 4.0	27.6	- 5.2	187.0
12	土	17.3	辛酉		+ 2.1	+ 4.1	14.4	- 5.4	188.0
13	日	18.3	壬戌	金星 ³⁾	+ 2.6	+ 4.2	1.1	- 5.5	189.0
14	月	19.3	癸亥	水星 ⁴⁾	+ 3.0	+ 4.3	347.9	- 5.6	190.0
15	火	20.3	甲子	火・月	+ 3.5	+ 4.4	334.7	- 5.7	191.0
16	水	21.3	乙丑	下弦	+ 3.9	+ 4.5	321.4	- 5.8	192.0
17	木	22.3	丙寅		+ 4.4	+ 4.6	308.2	- 5.9	193.0
18	金	23.3	丁卯	月が遠地點	+ 4.8	+ 4.7	295.0	- 6.0	194.0
19	土	24.3	戊辰	土・月, 天・月	+ 5.3	+ 4.8	281.8	- 6.1	195.0
20	日	25.3	(己巳)	木・月	+ 5.7	+ 4.8	268.5	- 6.1	196.0
21	月	26.3	庚午	土用入	+ 6.1	+ 4.9	255.3	- 6.2	197.0
22	火	27.3	辛未		+ 6.6	+ 5.0	242.1	- 6.3	198.0
23	水	28.3	壬申	水・月, 大暑	+ 7.0	+ 5.1	228.8	- 6.3	199.0
24	木	29.3	癸酉	水星 ⁵⁾	+ 7.4	+ 5.2	215.6	- 6.3	200.0
25	金	0.8	甲戌		+ 7.8	+ 5.3	202.4	- 6.4	201.0
26	土	1.8	乙亥	金・月	+ 8.3	+ 5.4	189.1	- 6.4	202.0
27	日	2.8	丙子		+ 8.7	+ 5.4	175.9	- 6.4	203.0
28	月	3.8	丁丑	海・月	+ 9.1	+ 5.5	162.7	- 6.4	204.0
29	火	4.8	戊寅		+ 9.5	+ 5.6	149.5	- 6.4	205.0
30	水	5.8	己卯	冥王星が會合	+ 9.9	+ 5.7	136.2	- 6.3	206.0
31	木	6.8	庚辰	上弦	+ 10.3	+ 5.7	123.0	- 6.3	207.0

¹⁾ 3日 水星が太陽と内合(6時), 地球が遠日點通過(9時).²⁾ 10日 火星が日心黄緯最南(22時). ³⁾ 13日 金星が日心黄緯最北(15時).⁴⁾ 14日 水星が西留(9時)し, 日心黄緯最南(23時).⁵⁾ 24日 水星が西方極大離角(13時, 離角20°0'), 新月(16時39分, 舊閏六月朔).